



オーストラリア直送レポート

Vol.1

2015.8.1～2 出発から現地到着

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・林
- パーマストン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・岩崎

多数の応募者の中から、オーストラリアへの熱い気持ちと、まだ見ぬ世界へのチャレンジ精神を持った中学生30人による中学生海外研修がいよいよ始まりました。

今回は8月1日から8月16日の16日間で14日間、オーストラリアにて研修が行われます。その下準備として、6月8日から約毎週1回、事前研修を重ね研修への準備を進めてきました。第一班、吉備中学校16名の生徒は、オーストラリアのダーウィン市にある「ドリップストーン・ミドルスクール」へ、第二班の金屋、白馬、智辯中学校14名はパーマストン市にある「パーマストン・シニアカレッジ」「ローズベリー・ミドルスクール」へ登校し、研修を行います。



日本各地が猛暑に襲われるなか、ここ有田川町吉備庁舎に本日、その暑さに負けない熱い気持ちを持った生徒たちが集合しました。壮行会で見た真剣な表情、緊張感とは異なる、不安と期待に満ちた表情が見受けられました。集合場所である吉備庁舎から保護者の方に見送られながら関西空港へ。そして、シン



ガポールを経由し、研修の地オーストラリアはダーウィンへと向かいました。シンガポール空港内では、平地でのエスカレータに興味を持ったり、空港内を散策などを行い、さっそく彼らの感性が刺激を受けている姿にこちらまで童心に戻った気がしました。

初めての長時間のフライトや乗り継ぎで、小々疲れ気味の生徒たちでしたが、ダーウィン空港に迎えに来てくれたホストファミリーと対面すると、自分たちから積極的に話しかけていました。各ホストファミリーとの記念撮影を終えて各自移動する時には、笑顔も垣間見えました。

ホストファミリー宅では、自身の家庭での生活習慣の違いや、家族との何気ないやりとりの大切さ、英

語でのコミュニケーションへの不安、日本にいるときには感じたことのないストレスに襲われることもあるでしょう。ただ、これらの経験こそが、今後生徒たちの大きな財産になっていきます。日常生活での違和感も新鮮なものと感じられたり、不安が楽しみへと変化していきます。そんな生徒たちをスタッフ一同、しっかりと生徒に寄り添いフォローしていきます。

保護者のみなさま、この研修への参加が決まってから、ご家庭でお子さまの変化はございましたか？準備が進むなかで、期待や不安が入り交じった心境だったかと思います。しかし、日本で研修を重ねるなかで日に日に生徒たちの顔つきも変わり、強い自覚も生まれてきていました。無限の可能性を持った生徒たちがオーストラリアでの体験を経て、帰国する時にどんな成長をとげたかを楽しみにお待ちしておりますね。

